

ふりがな	にしとみおかむこうばたいせき	
遺跡名	西富岡・向畑遺跡 (伊勢原市No.160遺跡)	
調査期間	200704～継続中	
所在地	伊勢原市西富岡	
時代	旧石器 縄文 古墳 奈良・平安 中世 近世	

更新日:平成25年7月1日

調査原因 中日本高速道路株式会社による新東名高速道路建設事業に伴う埋蔵文化財調査

遺跡位置 小田急小田原線伊勢原駅の北方約2kmの富岡丘陵

主な調査成果 近世から旧石器時代の遺構や遺物が多数発見されています。旧石器時代では、L1H層から槍先形尖頭器石器群が、B1層からはナイフ形石器を主とする石器群が見つかりました。縄文時代では、1区の谷から水場遺構が発見され、木製の道具や土器などが多数出土しました。奈良・平安時代および古墳時代の竪穴住居跡は、主に台地上～低地際に分布していることが分かりました。中世では、竪穴状遺構や掘立柱建物の柱穴などが検出されており、13世紀～14世紀の景德鎮系の青白磁壺類や竜泉窯系の青磁蓮弁文碗等の舶載磁器を含む陶磁器片が比較的多く出土しています。近世では、耕作に関連する畝状遺構や土坑が見つかりました。



▲ 1区 縄文時代水場遺構木組全景



▲ 1区 水場遺構木組内耳栓出土状況



▲ 14区 旧石器時代遺物出土状況



▲ 14区 槍先形尖頭器出土状況